



パリ・モーターショー 2024で
ヴァレオと共にモビリティの未来を体験
プレスキット

Valeo

JOIN US
TO DISCOVER AND EXPERIENCE OUR
LATEST INNOVATIONS

VALEO MOBILITY HOUSE
ESPACE CLACQUESIN
18 av. du Maréchal Leclerc
92 240 MALAKOFF
October 13 – 17

~ 15 minutes travel time ▶ Shuttle services provided by Valeo

VALEO BOOTH - HALL 6
PARIS MOTOR SHOW
1 place de la Porte de Versailles
75 015 PARIS
October 14 – 20

SMART TECHNOLOGY FOR SMARTER MOBILITY



www.valeo.com



ユーザーからの期待と気候変動の課題に応えるために、モビリティはかつてない速度で進化しています。ヴァレオは、世界中の自動車メーカーやモビリティ関係者に、より持続可能で、より安全で、よりコネクテッドで、より多様なモビリティを実現するアフォーダブルなソリューションを開発する鍵となるイノベーションとテクノロジーのパートナーです。

10月13日から20日まで、ポルト・ド・ヴェルサイユ展示センターのホール6のヴァレオブースや、パリ郊外マラコフ (Malakoff) のエスパス・クラッサン (Espace Clacquesin) に開設するヴァレオ・モビリティ・ハウスで、最新のイノベーションを発見し、デモカーをご体験ください。

ヴァレオのハイライト @ パリ・モーターショー2024

ヴァレオ・モビリティ・ハウスのご来場には事前登録が必要です。

press-contact.mailbox@valeo.comからご登録ください

2024年10月13日(日)

14:00 ヴァレオ・モビリティ・ハウスがプレスプレビューとしてオープン

2024年10月14日(月) :

8:00 - 17:00 : ポルト・ド・ベルサイユ展示センター - ヴァレオブース ホール6

ヴァレオ・モビリティ・ハウス

17:00 - 20:00 : ヴァレオモビリティハウスでのメディア・イベント

17:00-17:30: 「ヴァレオの4R戦略: より循環型のモビリティにむけたリマニュファクチャリングとイノベーション」 山本美濃 (サーキュラーエコノミー担当ディレクター)

17:30-18:00: 「ソフトウェア・デファインド・ビークル (SDV): 業界の課題とヴァレオの機会」
デレク・ド・ボノ (SDV担当副社長)

18:00 - 20:00 ヴァレオ CEO クリストフ・ペリヤ主催のカクテルパーティーと技術デモ

ヴァレオのスポークスパーソンへのインタビューや、イノベーションとデモカーを取材

2024年10月15日 (火)

10:20 - 10:45: ヴァレオ CEO クリストフ・ペリヤのカンファレンス 会場 : ドーム・ド・パリ

ヴァレオブース ポルト・ド・ベルサイユ展示センター - ホール6

ヴァレオ・レーサー: まったく新しい乗車体験を提供



ヴァレオ・レーサーは、車のWi-Fiに接続されたスマートフォンやタブレットでプレイできる、乗客向けのユニークな拡張現実 (XR) ゲーム体験です。このゲームは、新しいタイプの車内エンターテインメントの概念実証であり、ヴァレオの拡張現実ソフトウェア開発キットによって実現できるものを示しています。

運転支援システムの世界的なリーダーであるヴァレオは、その専門知識を活かして、ビデオゲーム開発者や自動車メーカーに、車両の実際の環境と3D要素を組み合わせた新しいタイプのゲームを開発する手段を提供します。ヴァレオが開発したソフトウェアによって、このゲームは、車両の運転支援システム (ADAS) (カメラ、レーダー、超音波センサー) と、すでに搭載されている認識および人工知能アルゴリズムを使用して、車の実際の環境をゲームに挿入し、これまでになく新しいゲーム体験を提供します。

パントマイム: AI が道路ユーザーの安全性を高めるとき



自動運転の最大の課題の1つは、人間の行動を解釈することです。自動運転車は、道路工事や、警察官による交通整理、自転車の走行など都市部の運転環境において、安全な判断を下し、走行を続けられるようにする必要があります。

カメラ認識システムのリーダーであるヴァレオは、車両にインテリジェンスをもたらし、さまざまな極端な状況においても、建設作業員や、警察官、サイクリストとのやり取りを支援するソフトウェア AI ソリューションを提供します。

ヴァレオのLiDAR技術: 信頼性の高い自動運転の要

自動運転車は、複雑な市街地や高速道路を走行しながら、正確な判断を下し、安全を確保する必要があります。

他のセンサーシステムでは対応が難しい環境において、障害物を車両が発見して対応できるようにする

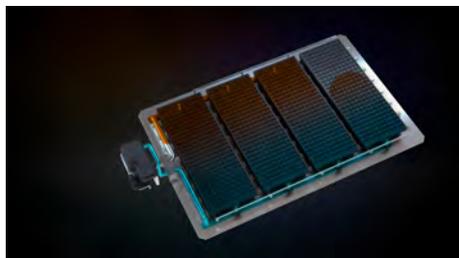


LiDARは、自動運転車システムの不可欠な要素であることが証明されています。LiDAR センサーは、レーダーよりも正確で包括的な画像を生成し、超音波センサーよりも優れた範囲をカバーし、カメラより厳しい照明や気象条件でも力を発揮します。自動運転車にリアルタイムでビジュアルを作成する能力に優れており、LiDARによる正確なマップにより、環境内で正確に自車位置を特定することができます。



ヴァレオは、ハードウェアとソフトウェア双方の専門知識を活用して、カメラと LiDAR データを組み合わせた高度なマッピング・アルゴリズムを開発し、正確な環境表現を提供する高解像度のカラー・ポイント・クラウド・マップを提供します。パリ モーターショー 2024 で、ヴァレオは自車のシステムで作成したパリの最も象徴的なモニュメントのマップを紹介しました。

ヴァレオのスマートバッテリー液浸冷却システム：EVの可能性を最大限に引き出す



ヴァレオのスマートバッテリー液浸冷却システムは、効率的な誘電性流体とスマートな流体アーキテクチャを組み合わせ、安全性、効率、充電時間、寿命、環境への影響の低減という点でEVの全体的なパフォーマンスを向上させます。

この画期的なシステムは、完璧にセルレベルの冷却を行うことで充電時間を30%短縮し、冬季に必要なに応じて予熱することを可能とし、現在の充電スピードにおける最高クラスのバッテリー冷却システムと比較してコンプレッサーの消費電力を5%から8%低減します。

また、液浸する大型構造モジュールは、ヴァレオ・オルガノシート素材で作られており、強固な衝突保護性能を確保しつつ、アルミニウムと同じぐらい軽量でありながら、炭素排出量を50%低減します。

このソリューションの先進的な開発が評価され、2023年第1四半期に、欧州の大手自動車メーカーが2028年に発売する次期EVへの採用が決まり、ヴァレオは製品の玉成を加速させているところです。

ヴァレオのフロント&リアランプ：ルノー5 E-techのスタイルとテクノロジーに貢献

ヴァレオはルノーのデザインとエンジニアリング・チームと協力し、自動車史の象徴であるR5

E-tech を、遊び心のあるランプと信号灯とともに復活させました。



フロントのヘッドランプには、電子部品を一体化したリフレクターモジュールであるヴァレオ「Monolag」が組み込まれており、究極の軽量化と低消費電力を実現しています。信号灯は、リフレクターモジュールの光線の前面にある透明なマイクロ・オプティクスによって制御され、ヘッドランプの光線を妨げることなく、ユニークな3D効果のシグネチャーを実現しています。



吸気エリアにある四角いデイトタイム・ランニング・ランプは、直線的なデザインとすっきりとしたカット、認識しやすい不連続な外観が特徴で、デイトタイム ランニング ランプとターンランプの二重の機能を実現しています。

テールランプ、ストップランプ、ターンランプ、フォグランプの機能を統合したフルLEDリアランプは、レトロ・フューチャリスティックな雰囲気、このモデルの象徴的な縦基調のスタイル・コードを採用しています。垂直のエレメントと細い



水平線を組み合わせることで、3D 効果を生み出しています。持続可能なアプローチの一環としてミニマリズムと個性の強さを組み合わせたリアランプのデザインは、車両後部のエアロダイナミクスを改善し、充電1回あたりの走行距離を6キロメートル延ばす効果を生んでいます

Zeekr x Valeo: プレミアム EV 向けのパーソナライズされた照明体験



ヴァレオブースにフロントフェイスが展示されるZeekrの最新モデルは、ADASセンサーをシームレスに内蔵したイルミネーションロゴによってブランドアイデンティティを高めています。ヴァレオのレンズ高さ15mmのバイファンクションヘッドランプThinbilite15と1,700個以上のLEDで構成される2台のデジタルパネルを備えた革新的なフロントフェイスのおかげで、従来の自動車のセグメント化されたデザインから脱却し、最新の技術要素をシームレスに統合しており、ユーザーはパーソナライズされたインタラクティブなライティングを体験できます。ヴァレオは、エキサイティングな車室空間を演出するインテリアライティングも提供しています。

ヴァレオ・モビリティ・ハウス - マラコフのエスパス・クラッサン

ポルト・ド・ヴェルサイユ展示センターのホール6のヴァレオブースと、パリ郊外マラコフのヴァレオ・モビリティ・ハウスの間でシャトルサービスをご利用いただけます。ご来場に関しては、press-contact.mailbox@valeo.comよりご登録ください。

ヴァレオ・レーサー

ヨーロッパ初お目見えのヴァレオ・レーサーを、ヴァレオ・モビリティ・ハウスでご体験ください。

ヴァレオ・スマート・セーフティ 360 とナビゲーション・オン・パイロット: 安全でリラックスしたドライブを実現する手頃なソリューション

より安全で快適な運転体験のために、ヴァレオとHEREは、ヴァレオ・スマート・セーフティ360システム(VSS360)の新バージョンを発表します。これは、HEREが提供するターンキーカスタマイズ可能な「サービスとしてのソフトウェア」Software-as-a-Service (SaaS) ソリューションを使用して、コネクテッド・ビークル向けの完全なマップ、ナビゲーション、サービス体験に依拠するナビゲーション・オン・パイロット (NOP) 機能を統合したものです。



ヴァレオのハードウェアとソフトウェアの専門知識を活用したヴァレオ・スマート・セーフティ360システムは、車両のアーキテクチャ、ひいてはコストへの影響を最小限に抑えながら、さまざまな安全機能と駐車支援機能を効率的に提供します。スマート・フロントカメラはアーキテクチャの中心とな



り、最大 6 台のカメラ、5 台のレーダー、12 台の超音波センサー、ADAS ドメイン コントローラーと関連ソフトウェアに接続できます。このスケーラブルなアプローチにより、さまざまな種類の安全センサーと ADAS センサーがフロントカメラ・ベースのアーキテクチャに統合されるため、OEMは個別の ECU をなくしコストと効率を最適化することができます。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスのデモカーに乗って、ハンドルから手を離して走り出しましょう。

Cocoon: SDV市場で最も広範なポートフォリオ



ヴァレオは、業界随一の包括的なセンサーポートフォリオ（超音波センサー、カメラ、レーダー、LiDAR）を提供しており、AIベースのソフトウェア、セントラル・コンピューティング・ユニット、それらをホストするゾーン・コントローラーも揃えています。

パリ・モーターショー2024でヴァレオは、HoloLensグラスを使用した複合現実によって、ADAS、インテリアエクスペリエンス製品、Phone as a Keyソリューションを紹介します。

PanoVision : 安全性と快適性を高める最新のディスプレイ



車の安全性を高めるために、ヴァレオはドライバーがディスプレイを見るために路上から目を離さずにすむソリューションを開発しています。

ヴァレオの拡張現実ヘッドアップディスプレイ（HUD）と組み合わせたPanoVisionの仮想浮遊画像により、すべての情報がドライバーの視界に直接表示されます。ダッシュボードに隠されたディスプレイにより、すべての乗員にとって優れた視認性と

スリムなコックピットデザインが実現します。

フロントガラスの反射処理とヴァレオの新しい特注のローカル・ディミング・ディスプレイ・バックライトを組み合わせたPanoVisionは、消費電力と視覚コントラストを最適化し、乗員に完全な明るさと没入感を提供します。偏光サングラスに対応しており、フロントガラスと視野の全ての規制を満たしています。

ヴァレオ・モビリティ・ハウス で是非、お試しください！

ヴァレオ e拡張現実体験: 比類のない拡張現実体験を



車が自動運転をしている間や、EVの充電を待っている間には、仕事をしたり、リラックスしたり、友人との交流に時間を使いたいものです。

バーチャル・リアリティ・ヘッドセットを装着すると、乗客は自分が選んだ世界に完全に没入し、直感的でインタラクティブ



ぶな体験を楽しむことができます。キャビン全体に配置されているさまざまなヴァレオのセンサーのおかげで、乗客はバーチャル・ワールドと対話することができます。

車両の外側に配置されたセンサーは、現実世界の要素とバーチャル・ワールドを組み合わせるのに役立ちます。

パリ・モーターショーの喧騒を少しの間忘れて、ヴァレオ・モビリティ・ハウスでこのテクノロジーをご体験ください。

ヴァレオ・パノラマ^{XR}: 旅の体験を大切な人と共有

モビリティは、A地点からB地点まで移動する以上の意味を持ちます。それは、本物の旅や、大切な人と共有したい体験となるかもしれません。ヴァレオ・パノラマ^{XR}は、ドローンで撮影したかのような車の運転環境の360度のビューをスマートフォンの画面で楽しむことができるリモート・ソリューションを提供します。

ヴァレオ x テレダインプリヤー・サーマルカメラ: 世界最小かつ最高感度の自動車グレート暗視カメラ



ヴァレオは、サーマルカメラの世界的リーダーであるテレダインプリヤーと専門知識を組み合わせ、世界最小かつ最も感度が高く安全定格のナイトビジョンカメラを開発しました。サーマルカメラは、あらゆる運転状況で交通弱者、動物、車両、道路端の検出範囲を拡大するための重要な手段です。長波赤外線で感知された詳細なデータと可視光領域を融合することで、ドライバーの視認性が向上し、LiDARやレーダーなどの他のセンサーと組み合わせることで、困難な状況や高速走行時に高い検

出機能を提供します。

Drive4U Locate[®] Fleet: ヴアレオのクラウドベースのクラウドソーシングマッピング技術

従来のマッピング方法は遅く、高価で、しばしば正確性に欠けていました。これらの方法では、絶え間なく動き続ける私たちの世界に追いつくことは難しく、自動運転車は古い情報しか持たないことになります。

ヴァレオのソリューション Drive4U Locate[®] Fleet は、車載センサーとクラウドソーシングによりダイナミック・マップを更新し、搭載車両に常に最新の情報を提供し、リアルタイムでの変化と自車位置、そしてあらゆる場所で正確な位置特定を反映します。



ダイレクト・ツー・チップ冷却システム: サーバーからインフラストラクチャまでの効率的な熱管理

CES 2024 での展示から、ZutaCore®とヴァレオは、よりエネルギー効率が高く環境に配慮したデータセンターの開発に貢献するという共通のコミットメントに則って、データセンター向けの液体冷却ソリューションを継続しています。データセンターにおける、より効率的で持続可能な冷却への需要の高まりに対応することを目指して、両社は4年間の商業契約を年初に締結し、ヴァレオは2024年後半に最初のコンポーネントを納入する予定です。

両社の共同アプローチには、コンピューティング・パフォーマンスの向上、運用コストの削減、熱の再利用による持続可能性の向上をサポートするように設計された、水を使用しない二相冷却システム D2C (Direct To Chips) 液体冷却システムが含まれます。ヴァレオの熱再利用ユニット (HRU) は、コンパクトな設計で 60kW の冷却能力を提供し、ホットスワップ可能なポンプなどの機能により、メンテナンスのダウンタイムを削減します。ZutaCore の HyperCool® ソリューションと統合することで、このシステムは最も電力を消費するプロセッサも冷却できるため、高性能コンピューティング (HPC)、AI、機械学習などのアプリケーションに最適です。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスで、インフラストラクチャの熱管理を再考して、より効率的で持続可能なソリューションを設計する方法をご覧ください。

運転性と効率性の向上: 2速高電圧推進システム

ヴァレオは、現在量産開発中のマイルドハイブリッド車向けeAWD (電動全輪駆動) を可能にする2速48VセカンダリeAxleの開発に成功し、高電圧 (HV) システム (eMotor + インバータ) の進化版を発表します。この新しいシステムは、高電圧ハイブリッドから完全なBEV (バッテリー電気自動車) まで、より幅広いAWD電動車両アプリケーションをカバーします。このセカンダリeAxleシステムは、単速システムと比較して、発進、加速、高速時の効率が向上します。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスのショールームで、アフォーダブルな2速パワーシフト減速機のコンセプトをご覧ください。この最先端システムを搭載したプジョー3008を運転して、2速HVセカンダリeAxleをご体験いただけます。

ヴァレオは、熱管理と航続距離予測を拡張

快適性を損なうことなく航続距離とバッテリー寿命を最大化するには、バッテリーとモーターの温度を管理しつつ、乗客にとって最適なキャビン環境を効率的に維持することが鍵となります。



CES2024でヴァレオは、バッテリーEVの最も効率的な熱管理戦略を予測して実行し、走行距離の延長 (充電停止回数の減少と充電操作の高速化) とバッテリー寿命の延長を実現する Predict4Rangeソフトウェアを発表しました。このソフトウェアは、外気温、風速、充電ステーションマップ、道路の標高、電気自動車のパラメータなどのリアルタイムデータを統合する



ことで、従来の熱管理制御と比較して、実際の状況で最大24%長い航続距離を可能にします。電動モビリティのエネルギー効率をリードするヴァレオは、冬季のEVの航続距離を向上させる2つの新しいシステム、キャビン内部のスマート放射パネルとスマート・ヒートポンプ・システムを提供します。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスで、Extended Rangeオファアを搭載したHyundai Ioniq 5をご試乗ください。

ヴァレオ ImagIn: 臨場感あふれる音と光の体験をあなたの車で！

ヴァレオと Sennheiser Mobility は、互いの専門知識を結集して、光と没入型サウンド・オーディオシステムが融合し、各乗客の周囲にサウンド・ステージがあるかのような錯覚を生み出し、車での移動を息を呑むようなサウンド スケープに変える独自のマルチ感覚なエクスペリエンスを開発しました。

ヴァレオImagInインテリアライティング・システムは、プロジェクション・モジュール、スマートでアダプタブルなユーザーインターフェイス、プロジェクションとコンテンツ管理専用のソフトウェアで構成されます。ヴァレオImagInは、スマート・サーフェスに投影されたビジュアル・コンテンツとサウンドを組み合わせて、没入型で直感的なエクスペリエンスをあらゆる乗員にもたらしめます。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスで、ヴァレオImagInを体験し、リラックスして活力を取り戻してください。

ヴァレオのフロントランプ技術：道路上での安全性とデザイン性の向上

ヴァレオ・モビリティ・ハウスで、すべての地域の規制に準拠し、新しいブランド・シグネチャーと（ADASに対応した）イルミネーションロゴを強調する革新的なフロントライティングテクノロジーの最新例を2点ご覧ください。Zeekr 007 と Lynk & Co Z10 のヘッドランプには、ヴァレオのレンズ高さ15mmのバイファンクションヘッドランプが搭載されています。この製品は、Gasgoo Award 2023 を受賞し、Pace Award 2024 のファイナリストになりました。



Zeekrの最新モデル007は、ヴァレオのThinBilite15と1,700個以上のLEDで構成される2つのデジタルパネルを備えた革新的なフロント・フェイスにより、従来の車のセグメント化されたデザインから脱却し、最新のテクノロジー要素をシームレスに統合して、ユーザーにリアルタイムでインタラクティブなライティング体験を提供します。



Lynk & Co Z10の空力デザインは、レンズ高さわずか15mmのThinBiliteモジュールを搭載した薄型のヘッドランプと初のRGBアプリケーションによって強調されています。このRGBアプリケーションは224個のLEDを制御し、256色を表示できます。これは、ヴァレオが開発した外装照明用のRGB LEDの最初の適用例であり、カラフルなアニメーションをもたらします。



ヴァレオ AquaBlade™ テクノロジー: ワイパー用の新しいソフトウェア制御と電子制御 EV モーター

ヴァレオ AquaBlade™ テクノロジーは、スケーラブルなフロントガラス洗浄とワイピング システムです。統合ノズルにより、他のソリューションでは届かないカメラ領域でもブレード全体から均一にウォッシャー液を分配できます。また、寒冷地で使用できるように、1つまたは2つのランプとブレードのヒーター機能も備えています。



ヴァレオ AquaBlade™ テクノロジーは、洗浄液の消費を抑え、緊急ブレーキ時にドライバーの視覚が妨げられる時間を短縮し、反応時間を早めます。これは、ヴァレオの電子モーターと独自のシステムの組み合わせにより、大型のフロントガラス、トラック、バスにおいても幅広いトルクを提供し、ワイピング品質と視認性をさらに向上させるとともに、エンドユーザーに新しいソフトウェア機能を提供します。ヴァレオは、ワイパーシステムのソフトウェアの開発・提供のパイオニアであり、ワイパーのデバッグ

(虫汚れ除去) 機能で、2020 年以降にソフトウェア・サービスとして賞を獲得した唯一の企業です。視認性、安全性、快適性の向上のために、ワイパー・モーターの最適な駆動とエンドユーザー重視の機能という2つのソフトウェアスイートが開発されています。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスで、効果的なデバッグ機能やフロントガラスの素早い除霜機能をお試し下さい。

センサー・クリーニング・ソリューション: ADASと自動運転機能の信頼性向上のために



自動運転L2+からL4までのアプリケーションの開発をサポートするために、ヴァレオはLiDARやカメラなどの光学センサーを洗浄するさまざまなシステムを開発しました。ヴァレオのソリューションは、欧州とアジアのOEMのL2+/L3車両向けにすでに量産が始まっています。

ヴァレオは、あらゆるレベルの自動運転アプリケーションに対応する柔軟でスケーラブルな洗浄システムを提供しています。

ヴァレオのソリューションには、センサー・クリーニング用のポンプ、ECU、電動バルブ、ブローと、フルレンジのノズルが含まれます。ヴァレオは、泥、ほこり、雨、雪などのあらゆる気象条件でセンサーの機能を維持するためのイノベーションを提案することで、自動運転の課題に取り組み、洗浄ソリューションの効率向上と、軽量化、ウォッシャー液の消費量の低減に注力しています。また、効率と安全性を向上させるために、液による洗浄と送風による清浄をLIN通信とともに組み合わせた、新しいスマートで電子化された洗浄システムも備えています。



2輪、3輪、4輪車向けの新しいモビリティ48Vアプリケーション

ヴァレオの48V モーターは、eBike 用のヴァレオCyclee™ から ヴァレオ48V電動パワートレインを搭載した シトロエンAMI などの e4Wheeler まで、あらゆる新しいモビリティ アプリケーションに対応するアフォーダブルなソリューションです。



新型BMW CE-02バイクにも 48V 電動モーターが搭載されています。このバイクには、最大9kWの連続出力と14kWのピーク出力を発生できるコンパクトな空冷式 48V 電動モーターが組み込まれています。BMWはこのeMotorBikeを4kWと11kW の2種の出カバージョンで提供しています。走行距離100kmで毎日の使用や週単位の使用にも最適なソリューションです。



ヴァレオは、48V ソリューションによって、軽量の e-4 輪車セグメント向けのアフォーダブルで軽量のEVも提案しています。60年代にインスピレーションを得た超軽量車両であるKate Originalは、ヴァレオeAccess パワートレインを搭載し、重量はわずか 450 kgながら、130 kmの距離を走行できます。この経済的で楽しい車はフランスで製造されています。

南アフリカの3輪車MellowVansにもこの48V技術が搭載されており、ラストマイル配送ソリューションと地域の要件に完璧に適合しています。

ヴァレオ・モビリティ・ハウスで、ぜひ試乗ください。

ヴァレオCyclee™: ヴァレオのミッドドライブユニットソリューションは、新たな使いやすさを提供



ヴァレオCyclee™は、ライダーの意図を汲み取り、自動7速ギアシフトと業界最高水準のトルクレベル(130Nm)のギアボックスにより、最も過酷な走行を含めてあらゆる状況での乗り心地を向上させます。電動推進ユニットから生じるノイズを約7デシベル低減し、ヴァレオCyclee™はさらに静かになりました。



ヴァレオCyclee™ は、スマートドック、2 インチ タッチディスプレイ、回転式スロットル付きリモコンで構成されたスタイリッシュなHMI (ヒューマン・マシン・インターフェイス)を提供します。このHMIは、複数の組み立て位置と取り外し可能なディスプレイにより、市街地から山岳地帯までシームレスに移行します。ヴァレオ・スマートドックの Phone-as-a-Key システムは、ライダーが3メートル離れると eBike を自動的に



ロックします。モーター・ギアボックスにはすでに盗難防止システムが搭載されていますが、このデバイスは、eBikeユーザーのニーズに合わせて調整された安全で使いやすいロック・システムにより、ユーザーの安全性を高めます。この技術は、eBikeの価値の高まりによる盗難の増加に対する解決策をもたらします。

テクノロジー企業であり、すべての自動車メーカーとニューモビリティプレイヤーのパートナーであるヴァレオは、モビリティをよりクリーンで、より安全で、よりスマートにするために、たゆまずイノベーションを行っています。ヴァレオは、電動化の加速、ADASの加速、インテリア・エクスペリエンスの再創出とライティング・エレクトロニクスにおいて、技術的・工業的なリーダーです。モビリティの変革に不可欠なこれらの4分野は、今後数年間のグループの成長を牽引しています。数字で見るヴァレオ：2023年、グループの売上は220億ユーロに達しました。2023年12月31日時点で112,700人の従業員を擁し、29カ国で175カ所の工場、66カ所の研究開発センター、20カ所の物流拠点を構えています。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しています。

報道関係者お問合せ先：
株式会社ヴァレオジャパン
Tel: 03-5465-5744
広報担当：090-6655-6429（石井）
Email: jp-communication.mailbox@valeo.com
WEBサイト：<http://www.valeo.co.jp>